

XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患 [約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 食中毒および 病害動物による 疾患 約20%	A 細菌性食中毒		
	B ウイルス性食中毒		
	C 化学性食中毒		
	D 自然毒食中毒		
	E 旅行者下痢症		
	F 毒ヘビによる咬傷		
	G 節足動物による疾患		ダニ症
2 アルコールによる 障害および薬物依存・ 中毒 約20%	A 急性アルコール中毒		
	B アルコール依存症		
	C アルコール精神病		Korsakoff 精神病、 Wernicke 脳症
	D 慢性アルコール性臓器障 害		
	E 妊婦・胎児への影響		胎児性アルコール 症候群
	F 睡眠薬依存・中毒		
	G 向精神薬依存・中毒		
	H 解熱鎮痛薬依存・中毒		
	I 麻薬依存・中毒		
	J 覚醒剤依存・中毒		
	K 有機溶剤依存・中毒		
	L 毒劇物中毒		
	M 薬物の副作用		悪性症候群、セロ トニン症候群
3 喫煙による障 害 約20%	A たばこ煙中の有害物質		主流煙、副流煙、 ニコチン、タール
	B 呼吸器疾患		
	C がん		Brinkman 指数
	D 循環器疾患		
	E ニコチン依存症		ニコチン代替療法
	F 妊婦・胎児への影響		
4 産業中毒およ びその他の職 業性疾患 約20%	A 金属中毒		
	B ガス中毒		
	C 有機溶剤中毒		
	D 有機化学物質中毒		
	E 無機化学物質中毒		
	F 農薬中毒		
	G 職業癌		
	H じん肺		
	I 作業態様による障害		職業性腰痛、頸肩 腕障害、VDT 作業に よる障害
	J 過重労働による障害		
	K 職業性ストレスによる障 害		
	L 職業性アレルギー		
	M 酸素欠乏症		
	N 作業関連疾患<work related diseases>		
5 物理的原因に よる疾患およ びその他の生 活環境因子に よる障害	A 低温・高温環境による疾患		
	B 電離放射線障害		
	C 非電離放射線障害		
	D 気圧による障害		
	E 騒音障害		

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
約 20%	F 振動障害		
	G 家庭用品による中毒		
	H 家庭におけるアレルギー ・過敏症<化学物質過敏症>		
	I シックビル症候群、シック ハウス症候群		
	J 事故による障害	交通事故、家庭内事故、自然災害	